



※現在、検討中！

調布市立
上ノ原小学校
5年生
令和8年5月8日



バトンパスを学ぶ価値

今、体育科の学習で「リレー」に取り組んでいます。体育科の学習は、どうしても得意、不得意が生じてしまいます。その中でも「短距離走」のような走競技は、速さが目に見えてしまうので、子どもたちの好き嫌いがはっきり分かれてしまいます。そこで今回は、単なる「走力」ではなく「バトンパス」という技術に焦点を当てることで、「みんなが上手くなることを感じられる機会にすることができる」と考え、子どもたちと「リレー」の学習に取り組むことにしました。

今回はチーム間の競争も大切にしつつ、「自分たちの記録をどれだけ伸ばせるか」という課題と向き合うことにしました。1回目のリレーの後、子どもたちから「次の走者とぶつかってしまう」「バトンパスの際の距離感が掴めない」という課題が挙がりました。子どもたちと「この課題を解決したら記録が伸びるかもしれない」と確認して、「バトンパスをスムーズに行うためにはどうしたらよいのか」について探究しました。子どもたちはバトンパスの練習を繰り返す中で、「次の走者が前の走者のスピードを捉えて、走り出すタイミングを見付けられるとスムーズにバトンを渡すことができる」と気付いていきました。

「バトンパス」という技術と向き合い、みんなで課題解決に向けて取り組んでいけると、「走力」という一人ひとりの「ちがいを」受け入れながら、みんなで高め合えるということを学ぶことができました。これからも「ちがいを」否定し合うのではなく、受け入れながら学び続けていけるように努めていきます。

ハヶ岳移動教室
保護者説明会
5月18日
よろしく
お願いいたします

